News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
New Rochelle, NY 10801 U.S.A.
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成２５年　10月18日　No. 13
発行責任者：校長　櫻井郁男

ドングリころころ


W校の落葉

LI校の周りには落葉が舞い、リスが多種多数のドングリを集め、冬の準備が始まっています。そこで朝礼の「教材」として「やじろべえ」を子どもたちに見せました。

「これ、なあに・・・」２・３年生の列から「やじろ・・・」との返事が聞こえてきました。「英語で答えてくれてもいいですよ」・・・お返事はありませんでした。調べてみると、ずばり「a balance toy」「a balancing toy」「仏・balancier」「中・平衡玩具」でした。

次に「やじろべえ」の語源を調べました。漢字では「弥次郎兵衛」と書きます。「東海道中膝栗毛」を連想します。娯楽旅行記に登場する人物の、振り分け荷物が語源なのでしょうか。でも、江戸時代より前から、世界中にあったのではないか・・・。

このあたりで私の思考は変わり、バランスの取り方に興味が湧いてきました。

間に合わせの材料で作ったためか、安定した揺れ方をしません。すぐに倒れてしまいます。暫く試行錯誤をして、横の枝を十分に曲がっているものに変えました。すると、左右に揺れながらも見事に軸は静止しています。中・高等部の生徒にふたつの作品を見せ、「どちらが安定しているか」と問いかけました。そして、力学的考察は、校長からの宿題としました。

重心・力のモーメント・支点など用語を用い、どのように日本語で理解していくのでしょうか。その思考過程には大いに関心があり、先生方からの報告が楽しみです。

さて、興味津々だった幼児部の子どもたちは、お散歩で収穫したドングリで、やじろべえ作りに熱中し、高校生は物理学に挑みます。また、スケッチに興味を持つ生徒もいることでしょう。と、ここで、別の思考回路が刺激されました。

同じような形・大きさの２種類のドングリを描く場合を考えましょう。

学習指導要領を確認すると

美術では「創造的な**技能**」として、

・・・意図に応じて表現方法等を創意工夫し**創造的に表し**ている。

理科では「観察・実験の**技能**」として、

・・・それらの過程や結果を**的確に記録、**整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。と示されています。


帆掛け船

理科では、殻斗の模様も細密に記録します。アラカシとシラカシの区別がつくことで、種(シュ)の違いを表現できるからです。

やじろべえから、学習評価にまで話題が発展しました。

皆さんはドングリをポケットに、どのようなことを考えるのでしょうか。